

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： 発達支援ルームでこポン

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。（回答は%で表示しています。）

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	80	20	0	年齢によってはスペースが足りない時もある。 屋外や公園をできる活動も行っている。 別室の利用も行っている。 使う時間を区切るなどの工夫をしている。	95	5	0	0	上手くスペースを作られていると思います。天井がもう少し高ければいいな。	利用児や活動の評価を行い、活動場所を考えていく。	
	2 職員の適切な配置	70	30	0	人数としては多い。 スタッフによっては負荷のバランス調整が必要	99	0	0	1	とても充実されていると思います。	スタッフそれぞれの負荷量の調整を行い、日頃の体調管理にも努める。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	80	20	0	個別にスケジュールボードを準備 本人と内容を相談する場を設けている カラフルな内装は視覚優位の子にはしんどいかも 個々に対し適切な準備を行い必要に応じて室内の配置変更を行っている。	99	2	0	3	まずは今日の流れをボードに書いて説明があり、時計で時間を意識させながら視覚からわかりやすく伝えてくださっている。	見通しの立ちやすい提示方法や環境整備に注意して行っていく。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100	0	0	毎日清掃している。 こまめに掃除している。 空き時間に遊具の天日干しや掃除をしている。	96	3	0	1	1時間毎にされる消毒など大変ですね。いつもありがとうございます。 座って活動や作業をするときは個室の部屋で集中できる環境になっている。	継続して消毒の徹底を行う。利用児のいない枠で普段できない掃除を行う。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	40	40	10	職員ミーティングで業務改善に努めている。 毎月の職員会議でモニタリングと課題の洗い出しをしている。							年間行事の流れをスタッフ全員が把握して円滑に進められるようにすることでPDCAサイクルがスピード感をもってできるようにする。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	20	70	10								今後前向きに考えていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	90	10	0	行っているが勤務状況的に難しい時はある。 勉強会など行っているがコロナによって変更が生じがちになる。 毎月グループ会社と、事業所のそれぞれの勉強会を実施している。							どのような点における資質向上が必要かを振り返り、必要に応じて対面およびオンラインでの開催受講をしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な 支援の 提供	1	100	0	0	特に中学生以上の児は本人の思いも聴取したうえで計画書作成している。(全員には行えていない)	96	1	0	3	いつも丁寧に計画を作成して下さっています。しっかりと分析されたプランになっている。	子どもと家庭の思いをを踏まえ将来に向けて良い方向に進める計画書を作成していく。
	2	70	30	0	保護者にわかりやすいように専門用語を多用せず、具体的な郷さに関する目標設定をおこなっている。	95	0	0	5	集団生活を行っていく上で必要な支援をサービスしてくださっている。	子ども本人や保護者の思いをきちんとくみ取った上でわかりやすく具体的な計画を立案する。
	3	80	20	0	コロナにより集団活動の開催がしばらく状況にある。 今年から集団活動を再開 個別療育でも小集団活動を行っている。						個別療育でも行える小集団活動を適宜組み合わせる。 感染状況に応じて対策をしながら集団活動の開催を継続していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	90	10	0		93	0	0	7		定期的な支援計画を見直し内容に沿った支援が出来るようにする。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	40	60	0	その時々でばらつきがある						定期的または必要に応じて話し合いの場を設ける必要がある。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	90	10	0	様々な活動を提供する努力をしている。	93	0	2	5	毎回先生が子どもの苦手なところを少しでも克服しようと工夫してくださってとてもありがたいです。毎回いろいろな興味は沸くような活動をしている。	新しい情報の検索、時事ネタ等ひとりひとりの能力に合わせて選択してプログラムを立案していく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	40	40	10	学校の行事と連動させて内容を設定したり活動負荷を調整したりしている。四季に応じた遊びを取り入れている。						子どもの小さな変化に気づけるよう日頃からしっかりと観察評価する。そのために事前の情報収集や保護者とのコミュニケーションを密にとっていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	40	60	0	その時々でばらつきがある。引継ぎやサブスタッフとの事前打ち合わせを行っている。忙しい時には十分に時間を確保して打合せが出来ないプログラム打合せ、準備物の話し合い等円滑に進むように話している。						療育開始前はもちろんのこと、空き時間を有効活用して役割分担や支援内容の確認を行っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	40	40	10	気づきの共有はしているが必ずしも当日中ではない。ばらつきがある。気づいた点があれば振り返りを終了後に行っているが、毎回必ずではないため次回の利用までに話すように時間を設けている。						申し送り事項（ノートを確認した上）で始業する習慣をつけていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	80	20	0	行った内容を簡潔に記録し、その中で特筆することによってピックアップして記録している。						様式を簡素化したことにより内容をシンプルにまとめられている。担当以外が記録を確認しても流れをつかみやすい。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100	0	0	定期的に行っている。						定期的に行い計画内容が見直せるようにしていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	80	20	0	基本的に担当スタッフが必ず参加している。						基本的に担当スタッフが参加し、参加できない場合は介護前に申し送りを行う。	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				該当児無し							該当なし
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				該当児無し							該当なし
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	70	30	0	保護者の希望により情報共有の場を設けている。 児によってばらつきがある。 報告書を作成し必要に応じて申し送りを行っている。							保護者の希望に応じ、今後も園見学や関係機関との情報共有をおこなっていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	70	30	0	報告書を作成している。 児によってばらつきがある							報告書の作成を必要な児には全員行い、場合によっては電話での直接的な情報交換を行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	10	90	0								連携は引き続きはかり、受講の機会があれば積極的に利用していく。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	10	90	契約児以外との交流はあまりない。	29	1	10	48	通い始めて間もないのでわかりません。 個別が多い。(コロナの影響?)		時間帯が短い外部との交流は図りにくいですが、方法が無いか考えていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	10	90								今のところ、地域の方を招待する行事の予定はない。
保護者	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100	0	0	契約時に説明している	97	1	0	1	丁寧な説明をいただいています。	わからないことがないようにこれからも丁寧に説明を行っていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
への説明責任・連携支援	2	100	0	0	計画書を作成後、時間を取って説明している	94	1	1	4	丁寧に説明いただいています。	説明は時間を取って行き、その場で相談があった場合は丁寧に対応していく。
	3	30	60	10	家庭によってアプローチのばらつきがある 日々の助言は行っているが正式なプログラムとしてのペアトレは行っていない。	67	18	6	9	日頃の子どもの接し方についてアドバイスをしていただき助かっています。こういう行動はこういふ意味があると説明いただいている。 声のかけ方など参考にする頃が多く助かります。 ペアレントトレーニングはしてるのでしょうか？	正式なプログラムとして取り入れていきたい。そのための職員の養成も考えていきたい。(対面、オンライン)
保護者への説明責任・連携支援(続き)	4	90	10	0	やりとりを密にできる、なかなか連絡がとれない等の差がある 利用日に必要に応じ話を聞き、また療育の説明もおこなっている。	93	5	0	1	毎回、活動の様子をしっかりと伝えていただけてありがたいと思います。	やり取りが密にできない家庭には電話での連絡を行い現状を把握していく。
	5	90	10	0	各機関と連携しながら実施している。	94	5	0	1		相談員との連携を継続していきながら必要に応じて他機関への協力を依頼していく。
	6	0	60	40	感染予防の観点から対面では難しいかもしれないがオンライン等できることがあれば必要性は感じる。 集団活動等で保護者も巻きこめないか検討中	20	18	14	48	コロナ禍なのではないかな 通い始めて間もないのでわからない	集団活動への保護者参加の機会を設ける。 オンラインでの保護者会、意見交換の場を設ける。
	7	90	10	0		68	3	0	29		苦情があった場合は真摯に受け止め速やかに上司へ報告し適切に対応していく。
	8	90	0	10		96	3	0	1		その方が利用できるツールが何かを考え、それを使って信頼関係が築けるよう関わっていく
9	100	0	0	定期的にてこぼ新聞を発行している。 新聞の発行、施設内の刑事を行い、直接の説明も行っている。	89	1	0	10	でこぼ新聞楽しみにしています。	現在のペースで新聞を発行し情報発信をしていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	10										利用者の目に触れるところに置かない、離席時には片づける。メモ紙等シュレッダーする習慣をつける。
非常時等の対応	1										マニュアルを掲示したり新聞に掲載したりして保護者に周知していく。
	2										訓練での各役割を把握しすぐに行動できるようにする。訓練内容をホームページや新聞で取り上げていく。
非常時等の対応（続き）	3										委員会で立てた計画ののっとり研修を実施する。
	4										以前の対応を踏まえて、今後該当する子どもが利用する際には保護者との事前の相談と同意書の記載をお願いしていく。
	5										食事を伴う活動の前には、アレルギーのある子どもの情報を全員で把握し対応していく。
	6										引き続きヒヤリハットの作成を行い、全員で共有し事故につながらないように対応していく。